

自然災害のおそろしさ

テレビのニュースや新聞などで、土砂災害の話を知ったことはありますが、実際に土砂災害を見たことがなかった。今回いろいろ調べてみました。最近では、平成二十二年七月十六日島根県松江市、広島県庄原市などで梅雨前線のえいきょうにより、七月十三日から十五日にかけて激しい雨がふりこれにより、土砂災害、土砂流による家屋の全壊、半壊などの被害がでました。

私達が住む四国でも、平成十六年に台風十号、十五号、十六号、十八号、二十一号、二十三号と続けて台風におそわれ、豪雨と高潮によって土砂災害、床上浸水、床下浸水などの大きな被害を受けました。この時、私は小学校一年生でした。その時のことを小さかっただけとよく覚えていきます。二、三日前から雨が降り続いた後に、台風が接近して雨が強くなり、みるみるうちに家の近くの川の水の量が増え、田んぼにまで水があふれを見たり、水が濁り、田んぼにまで水があふれ、家には水が濁り、田んぼにまで水があふれ、家には水

岡田小学校 六年 名前 (井内 麻奈)

「災害のおそろしさ」

が入ってこないかと不安になり、怖い思いを
 しました。そして、あふれた川の水のせいで橋
 がこわれ地はんがゆるみ、道がかんぼつした
 りしました。下流にある家は床下浸水の被害
 をうけたそうです。

この被害で、私のお父さんやおじいちゃん
 の仕事がとてもしんどくなり、毎日おそく
 まで仕事をしていました。私のお父さんは、
 測量の仕事をしているので、土砂で道路をふ
 さいでしまつた現場、家屋が土砂にうまつて
 しまつた現場などたくさんさんの災害場所に行き
 復旧工事を、早く進めるようにいくつもの現
 場の測量をしたそうです。その時の、土砂く
 ずれの写真を見せてもらいました。その写真
 を見て、土砂災害で被害をうけた家を失つた人
 命を失つた人のことを考えると心が痛くなり
 ます。もも、自分がそういう災害にあつたらと
 考えるだけで、怖くなりました。

いろいろ調べ、話を聞いて自然災害のおそ
 ろしさを知りました。たがが雨だと思つてい

ました。が、長く降り続いたり大雨などは自然災害を引き起こす原因となり、人の命をうばってしまおうという現実を知りました。

自然災害はこれからもおこると思います。でも、被害を最小限にするためにも危険な場所の補強工事などに力を入れたらいいです。災害の仕事はたくさんしてきました。おじいちゃんに、土砂災害を防ぐ方法を聞いてみました。山と山の間に関を作ることがいいと言っていました。でも、関を作ることには反対をしています。いる人達がたくさんいると聞きました。私は、とうして反対しているのかわからないけど、災害を防ぐために私達にできることはしていかなくてはならないと思います。

一人一人が自分の立場に立って、もっと真剣に考えてみんなの力を合わせたら、どんな小さいことでも大きな力になると思います。今回ここで調べたこと、きいたこと思っただけを私が大人になるまで忘れずにいて、少しでも役に立てるようになりたいです。そして、

作文の題名

自然災害のおそろしさ

読書感想文の人は読んだ本の名前 (

(4) 枚目

お父さん達のように被害などに
かかわってほしいと
思いました。

名前 (井内 麻奈)